

大阪府立豊中高等学校能勢分校について

能勢高校は平成 30 年度より、豊中高校能勢分校（総合学科）となります。能勢分校への改編を機に教育内容を充実させ、生徒の進路実現を図るために進学にも就職にも対応したきめ細かな教育を展開していきます。分校への改編後の教育の特色や本校と分校間の交流・連携による教育の魅力化の概要について、以下のとおりまとめました。

1. 教育の目標

(1) めざす学校像

社会で活躍できる確かな学力を身につけ、自らを律し、自らの力で進路を切り拓いていく生徒を育成する。

(2) 生徒に育みたい力

- 自分の生き方を模索して将来の夢を描き、その実現に向けて必要となる学力
- 他者と目的を共有し、その達成に向けて相互に協働し活動を継続できる力
- 地域や社会の課題を理解し、解決策を考え実践するなど、地域社会の発展に貢献できる力

2. 教育課程編成の基本方針

(1) 新たな系列の設置

- ①「探 究」系列…大学等への進学をめざす生徒を対象に、必要な学力を育成する。
- ②「地域産業」系列…系列に設定する 3 つの学習群の中で、将来の職業や専門学校等への進学につながる科目を学習し、地域の発展に貢献できる力を育成する。

(2) 少人数・習熟度別の授業を充実

生徒一人ひとりに対してきめ細かくサポートするため、1 年次から少人数・習熟度別の授業を行い、学力の向上を図る。

(3) 2 学期制の実施

生徒の様々な進路ニーズに対応するため、前後期で異なる科目を設定できる 2 学期制を導入し、進学に必要な科目や農業、福祉など多様な科目を設定する。

(4) 本校・分校間の連携

大学等への進学に向けた学力向上への取組みや英語教育・国際理解教育について、本校と分校間で連携して実施することにより、両校の学習指導の充実を図る。また、分校農場を活用した課題研究に両校生徒が取り組んだり、両校生徒会が交流するなど生徒どうしの連携を図る。

3. 特色ある教育活動

(1) 大学進学コースの設置

1年次の後期に大学等への進学に対応した学力を育成する「大学進学コース」を設置する。

【コースの特色】

- 少人数授業の実施。
- 1年次後期には7時間目授業を週4日実施し、英語や数学の単位を増やす。

(2) 「探究」系列の設置

大学等への進学に対応した科目を設定する。

【取組例】

- 「現代文演習」「古典演習」「理系数学演習」「英語長文読解演習」など大学等への進学に対応した多くの演習科目を設定。
- 2、3年次は週2日、7時間目授業を実施。

(3) 「地域産業」系列の設置

3つの学習群を設け、将来の職業選択につながる特色ある科目を設定する。

- ①**食農流通**…農業の6次産業化（生産から加工・販売まで行う経営形態）の実践に触れ、自立した農業を学ぶ。

【取組例】

- 農業生産者等による直接指導**

農業生産者や専門家から栽培ノウハウなどについて指導を受けて実践的な栽培技術を身につける。また、企業農園の見学や生産者による講義の受講で、農業経営に関する知識を深める。

- 農産加工品の開発**

加工業者のアドバイスのもと黒米粉ベーグルや果実ジャムなどの農産加工品の開発に取り組むことにより、柔軟な発想力と加工技術を身につける。

- 販売実習**

地域物産販売所やデパートなどの協力を得て、能勢分校産の農産物や農産加工品の販売活動を行い、消費者の興味関心や購買状況について調査・分析し、より付加価値の高い商品づくりに活かしていく。

（科目例：「果樹」「くらしと動物」「食用作物」「食産加工と商品開発」など）

- ②**対人支援**…地域の施設等と連携し、体験を通じて保育や福祉を学ぶ。

【取組例】

- 地域の保育所、幼稚園と連携した体験実習を実施**

幼稚園児や保育園児、その保護者と直接ふれあう機会を持つことで、保護者の思いや、幼児教育・保育の現状や課題について理解を深める。

連携先：認定こども園みどり丘幼稚園、能勢町立のせ保育所

- 地域の福祉施設と連携した体験実習を実施**

車いす介助や食事介助等を通じて、高齢者や障がいのある方々と接し、社会福祉の現状や課題について理解を深める。

連携先：社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団 三恵園

○大学や専門学校との連携

保育や福祉等の実習に参加する生徒への事前事後指導時において、教員に講義をしてもらったり、学生から助言をいただく。

連携先：関西福祉科学大学、大阪青山大学、箕面学園福祉保育専門学校

〔科目例：「子どもの発達と保育」「生涯発達論」「社会福祉基礎」「子ども文化」〕
「福祉総合実習」など

③地域活性…能勢の自然や文化についての理解を深め、地域資源を活かす方法を学ぶ。

【取組例】

○能勢町観光協会との連携

能勢町観光協会と連携して、能勢の自然や伝統・文化を体験できるプログラムの企画・検討を行う。また、その体験プログラムの参加者を募って実施し、地域資源を活用したプログラムのさらなる魅力化などを提案する。

〔科目例：「地域の歴史と文化」「地域の環境と科学」「観光」「情報デザイン概論」〕
「地域と観光」など

<3年間のカリキュラムイメージ>

○探究系列を中心としたカリキュラムの例

(1年次の後期には大学進学コースを選択。網掛け部分は科目選択例)

1年次

前期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
	国語総合		現社			数学Ⅰ			化学基礎	体育	保健	芸術	家庭基礎	社会と情報	農業と環境※	産業社会と人間※	コミュニケーション英語Ⅰ			H	R													
後期	国語総合		現社			数学Ⅰ			数A	化学基礎	体育	保健	芸術	家庭基礎	社会と情報	農業と環境※	産業社会と人間※	コミュニケーション英語Ⅰ			H	R												

2年次

前期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
	現文B		世史B			数学Ⅱ			体育	保健	コミュニケーション英語Ⅱ			物理基礎/生物基礎		化学実験基礎	古典講読	数学A		総合	H	R										
後期	現文B		世史B			数学Ⅱ			体育	コミュニケーション英語Ⅱ			総合英語演習		物理/生物/日本史B		数学B		化学/古典B	総合	H	R										

3年次

前期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
	現代文講読	日史A/現文演	地学基礎	体育	課題探究	物理/生物/日本史B		化学/古典B		コミュニケーション英語Ⅲ			数学Ⅲ/英語長文演	数学Ⅲ/英語構文演	数学Ⅲ/古典演	理系数演/政経	総合学科選択科目		総合	H	R											
後期	現代文講読	日史A/現文演	地学基礎	体育	課題探究	物理/生物/日本史B		化学/古典B		コミュニケーション英語Ⅲ			数学Ⅲ/英語長文演	数学Ⅲ/英語構文演	数学Ⅲ/古典演	理系数演/政経	総合学科選択科目		総合	H	R											

○地域産業系列を中心としたカリキュラムの例

1年次

前期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	国語総合		現社			数学Ⅰ			化学基礎	体育	保健	芸術	家庭基礎	社会と情報	農業と環境※	産業社会と人間※	コミュニケーション英語Ⅰ			H	R										
後期	国語総合		現社			数学Ⅰ			化学基礎	体育	保健	芸術	家庭基礎	社会と情報	農業と環境※	産業社会と人間※	コミュニケーション英語Ⅰ			H	R										

2年次

前期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	現文B	世史A	数学Ⅱ	科学と人間生活			体育	保健	コミュニケーション英語Ⅱ			(食農流通・対人支援・地域活性の科目より選択)															総合	H	R	
後期	現文B	世史A	数学Ⅱ	科学と人間生活			体育	コミュニケーション英語Ⅱ			(食農流通・対人支援・地域活性の科目より選択)															総合	H	R		

3年次

前期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
	現文B	日史A	体育	課題探究	(食農流通・対人支援・地域活性の科目より選択)																									総合	H	R
後期	現文B	日史A	体育	課題探究	(食農流通・対人支援・地域活性の科目より選択)																									総合	H	R

※1年次の「農業と環境」は、能勢分校で学ぶ生徒が必ず履修するスーパーグローバルハイスクールに関連する科目。

※1年次の「産業社会と人間」は、総合学科で学ぶ生徒が必ず履修する科目。

(4) 英語の4技能「聞く」「話す」「読む」「書く」の育成

1年次よりオールイングリッシュの授業を取り入れ、卒業時には英語でディスカッションができる力を身につける。

【取組例】

- 1年次より習熟度別授業を実施。
- 授業中の指示は英語で行い、ペアワークなどのアクティビティを取り入れる。
- 英語を用いたプレゼンテーションやディスカッションを実施。〈探究系列〉
- 英検2級以上に合格できるように指導。〈探究系列〉

(5) グローカル^{※1}人材の育成

国指定のスーパーグローバルハイスクール（SGH）やユネスコスクール^{※2}として世界中の学校との交流を通じて、グローバルな視点をもって地域の課題を検討し、その解決策を考え実践することができる力を身につける。

【参考：H29年度の活動内容】

- 国内外の大学と連携し、「マレーシア～経済発展と自然破壊～」(H29年度 SGH テーマ)について調査・研究を実施。
- マレーシアへの修学旅行において、姉妹校（アスンタ高校）と文化交流を実施。
- 世界の貧困の解消に取り組むNPOと連携し、募金活動や本の寄付を実施。
- 毎年、世界各地から留学生の受け入れを実施。

※1 グローカル…グローバルとローカルを掛け合わせた造語で、「地球規模の視野で考え、地域視点で行動する」という考え方。

※2 ユネスコスクール…ユネスコ憲章に示されたユネスコの理念を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校。

4. 豊中高校（本校）との連携

(1) 大学等への進学に向けた学力向上の取組み

本校で実施されている授業ノウハウを共有したり、本校が実施する「土曜講習」等に参加することにより、大学等への進学に対応した学力の育成を図る。

【取組例】

○本校の進学指導のノウハウを分校で実践

新しく設置する「探究」系列の授業を中心に、本校のノウハウを共有し、大学等進学向けの授業を充実させる。

○本校で実施する土曜講習等への参加

希望する分校の生徒は、本校が実施する「土曜講習」等に参加が可能。

(2) 英語教育、国際理解教育の連携

本校のスーパーイングリッシュティーチャー（SET）の授業ノウハウの活用やスーパーグローバルハイスクール(SGH)活動の連携により、英語力の向上および国際理解教育の充実を図る。

【取組例】

○本校の英語指導を分校で実践

本校のSETが行う「使える英語」を身につけるための授業ノウハウを取り入れ、オールイングリッシュで授業を行い、英会話のペアワークや発表などを多く実施することにより、特に英語の「聞く力」・「話す力」を高める。

○スーパーグローバルハイスクール（SGH）活動の連携

両校が取り組むSGH活動では、本校・分校の生徒間で意見交換や校内プレ発表会等を実施することにより、国際理解教育を充実させる。

(3) 本校・分校の生徒交流の推進

本校のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の生物分野の生徒との交流や、生徒会・クラブ活動等での交流により生徒どうしの連携を図る。

【取組例】

○本校のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の取組みとの連携

分校の農場や能勢の自然豊かなフィールドを活用し、能勢分校の農場における課題探究の取組みと、本校 SSH の生物分野の探究活動とを連携させることで、両校の生徒がともに切磋琢磨して課題研究に取り組む。

計画中の活動：野鳥の調査、希少植物等の組織培養など

○本校が実施する「志学」を能勢地域で実施

分校がこれまで取り組んできた地域連携による体験活動を活かして、本校が実施している「志学」（ボランティア活動）の活動場所を能勢町とも連携しながら提供する。

体験活動例：菊炭体験、里山の保全など

○学校行事や課外活動での交流

両校生徒会やクラブ活動での積極的な交流を行う。

計画中の活動：豊中高校の文化祭において、能勢高校がチャリティー活動を実施（フェアトレード商品や能勢高校産のハチミツを販売し、売上の一部を募金）

5. その他

(1) 入学者選抜について

「大阪府立豊中高等学校能勢分校に係る入学者選抜」を新設する。

①選抜の時期

出 願：平成 30 年 2 月 14 日（水）及び 2 月 15 日（木）

学力検査：平成 30 年 2 月 20 日（火）

面 接：平成 30 年 2 月 21 日（水）

②選抜の資料

5 教科（国語、社会、数学、理科、英語）の学力検査、調査書、面接、自己申告書

③入学者選抜の種類と配点

ア. 本人・保護者の住所が能勢町又は豊能町にある者が志願できる選抜【能勢・豊能地域選抜】
(募集人員 20 名)

総合点は 750 点とする。

検査内容	学力検査	調査書の評価	面接	調査書の活動/行動の記録	自己申告書
素点	225 点	225 点	18 点	9 点	9 点
倍率	×1	×1	×300/36		
素点に倍率をかけた点数	225 点	225 点	300 点		
総合点	525 点				
	750 点				

イ. 本人・保護者の住所が府内にある者が志願できる選抜（募集人員 50名）

総合点は1,050点とする。

検査内容	学力検査	調査書の評定	面接	調査書の活動/行動の記録	自己申告書
素点	225点	225点	18点	9点	9点
			36点		
倍率	×7/3	×1	×300/36		
素点に倍率をかけた点数	525点	225点	300点		
		525点			
総合点	1,050点				

注1 本人・保護者の住所が能勢町又は豊能町にある者は、ア、イのいずれか一方の選抜を出願時に申告する。

注2 学力検査

45点×5教科=225点

注3 調査書の評定

3学年の評定×3倍+2学年の評定×1倍+1学年の評定×1倍=225点

※各学年の評定は、45点満点（5段階×9教科）

注4 面接、調査書の活動/行動の記録及び自己申告書は、以下のアドミッションポリシー（求める生徒像）を踏まえて評価したものをそれぞれ点数化する。

能勢分校のアドミッションポリシー（求める生徒像）

（平成30年度大阪府公立高等学校等アドミッションポリシーより抜粋）

- （1）将来、能勢・豊能地域の発展に貢献するために意欲をもって学習に取り組む生徒
- （2）大学等への進学に対応できる学力を身につけ、課題について英語で議論できる力をつけてグローバルに活躍することをめざす生徒
- （3）学級活動や学校行事、地域との交流、部活動などに、仲間と協働し、積極的に取り組む生徒

④合格者の決定

ア. それぞれの選抜において、総合点の高い者から順に募集人員を満たすよう、合格者を決定する。

イ. いずれか一方の選抜の合格者数が募集人員を下回っている場合は、両選抜の合格者数の合計が70名を満たすよう合格者を決定する。

（2）本校・分校を結ぶネット教室

本校・分校の日常的な交流や授業等での連携を行うために、IT技術を活用した「ネット教室」の設置を検討しており、平成29年度は6月中旬から9月中旬の3か月間の実証実験を行って、ネット教室の成果や課題を検証する。



(3) 部活動

能勢分校の部活動については、以下の能勢高校の部活動を継承する。

現在、能勢高校で活動中の部活動一覧

運動系	サッカー、硬式野球、バスケットボール、硬式テニス、バドミントン、卓球、空手道、弓道
文化系	書道、茶道、華道、家庭科、美術、漫画研究、軽音楽、ダンス、自然科学、PC ドローン同好会、生物同好会、農業クラブ、ユネスコクラブ

(4) 校歌、校章、校旗

能勢分校の校歌、校章及び校旗は、能勢高校のものを継続して使用する。

(5) 制服

能勢分校の制服は、豊中高校の制服と同じデザインとする予定。

[本資料に関する問い合わせ先]

* 大阪府立能勢高等学校 教頭 内田

連絡先 072-737-0666

* 大阪府教育庁高校再編整備課 指導主事 山川

連絡先 06-6944-6728